

# 滋賀 GPN

## News 創刊号

Shiga Green Purchasing Network

皆さん、今日は土屋でございます。

今日が初めての通常総会、第1回でございます。

ちょっと振り返ってみますと、設立総会が開催されたのは、ほんの少し前のことです。

半年ぐらい前のことです。その間に加入の申込みは、316団体だそうです。

これは、大変な勢いですね。

先週、東京でグリーン購入ネットワークの全国フォーラムがございまして、その場で地域ネット第1号の滋賀県のことについて、話をしてほしい、とご依頼をいただき、300を超えたということを申し上げました。

そうしましたら、会場の中から非常にお褒めの言葉をいただきました。

全国ネットの会員数が、2000を超えたところなんです。

その中で滋賀県の、この一つの地域だけで300を超えたということは、これは、すばらしいことだと思わないといけなことです。

その折に、もう一つ私が申し上げたのは、この背景が、実はあってこそ、その数なんであって、そう簡単に地域ネットを作ればこうなるわけでもないということ、を、申し上げてまいりました。

かえりみれば、滋賀県が環境熱心県、環境こだわり県という風に今でこそ言われるようになりましたが、その背景には、大変な県当局、県民の皆様、そして事業者の皆さんの大変な努力の積み重ねがあったわけでありです。

ですからこそ声をかけて半年で310を超える、そういう実績になったと言えるのでしょうか。

問題は、これからこうした勢いを、どう維持するかです。

その問いかけをした時に、会場の皆さんも多くの方が、うなずいて下さったのです。

何でも運動は、スタートするときのエナジーを維持させることが最もむずかしい、そうお思いになりませんか。

これを、どうやって維持させるかです。

しかし時代は、私どものこうした運動に追風になっていることは間違いないのです。

先般の国会で、まったく最後の最後に、駆け足でたくさんの方々が賛成しましたが、その中に環境保護に関係する大変重要

な法案がいくつも含まれていました。

その中の一つがグリーン購入法です。

ついにグリーン購入という事について、法律が制度的な枠組を提供するようになったということです。

これは、この運動が単に社会的認知を受けたということだけではなくて、そうしないと日本の社会は将来的には健全な社会にならないんだということ。

一つの国の求めるべき価値として、共有の、国民共有のものになったということです。

時代は、私達の運動に対して追風になっていることは、間違いないのです。

これからは、地方分権の時代といわれ、その声も高くなるでしょう。

例えば、滋賀県にとってみれば大工場の誘致に成功したとか、大工場が来たとか、そうしたことで、よその地域に対して優越感を得る時代は、過ぎ去りつつあって、問題はその中でどれだけクオリティを維持させるか。

それをお互いが問いかけ合って、たしかめ合う、そういう時代になって来たような気がします。

今回のフォーラムでお尋ねがたくさんありましたが、集約しますと一番多かったのは「会の運営のしかたをどうしているの」もう一つは、「呼びかけのしかたを、どうやったのでしょうか」その二つに集約出来る。

多分そういう質問をした方だからこれから地域ネットを立ち上げようとするお役所の方だと思いますが、いずれにせよ、そうしたお尋ねをいただくということは、こうした運動がさらにさらに展開して全国に増えて行く、そういうさきがけを、私どもは果たしている。それは、間違いないでしょう。

どうか、第1回の総会が成功りに終って、さらにさらに100歩でも1000歩でも前に進むとよいなあ。

どうか、一層のご鞭撻、ご協力をお願いして、私のごあいさつを終ります。

代表幹事  
土屋 正春

### 目次

1. 2000年度 滋賀グリーン購入ネットワーク通常総会開催の概要……………2
2. 滋賀グリーン購入ネットワーク設立から今日までの歩み……………4
3. 会員対象アンケート調査、結果報告概要……………7

# 2000年度 滋賀グリーン購入ネットワーク 通常総会開催の概要

昨年末、全国初の地域ネットワークとして発足した「滋賀グリーン購入ネットワーク（滋賀GPN）」の2000年度通常総会が、6月7日（水）午後1時から、滋賀県農業教育情報センターで開催されました。

その概要は、次の通りであります。

本総会の司会者であります、関西日本電気（株）環境安全センター長 都築 康彦氏の開会宣言によって始められた「滋賀グリーン購入ネットワーク（滋賀GPN）」2000年度通常総会は、土屋代表幹事の開会挨拶に続いて、滋賀県琵琶湖環境部長 田口 宇一郎氏、GPN代表幹事、グリーンコンシューマー研究会代表 緑川 芳樹氏の両氏から祝辞をいただき、土屋代表幹事を議長に選出して進められました。

## ●第1号議案

1999年度滋賀グリーン購入ネットワーク事業報告について

## ●第2号議案

1999年度滋賀グリーン購入ネットワーク収支決算について

の2議案が提案され、幹事の関西電力（株）滋賀支店 支店長室副長 山田 善久氏が説明を行ない、会計監事の（株）びわこ銀行から会計監査の報告がなされました。

議長により採決が取られた結果、2議案とも承認されました。

続いて

## ●第3号議案

2000年度滋賀グリーン購入ネットワーク事業計画（案）について

## ●第4号議案

2000年度滋賀グリーン購入ネットワーク収支予算（案）について

の2議案が一括提案され、説明が行なわれました。

議長が採決を求めたところ「第3号議案 2000年度グリーン購入ネットワーク事業計画（案）について」の前文中

「さらに、地域ネットらしさの研究を進めるため、次の事業を実施する」という文面があるが、この文面からすれば今年度はずっと地域ネットらしさの研究を進めるだけなのか、というふうに取りられるので、研究自体が目的ではなく、独自性を持った事業の展開を進めるために研究するのだから、「地域ネットとしての独自性を持った事業を進めるため、次の事業を実施する。」というふうに変えた方がよいのではないか、という意見が出され、採決の結果、意

見の通り修正することになりました。  
続いて

## ●第3号議案

2000年度滋賀グリーン購入ネットワーク事業計画（案）

## ●第4号議案

2000年度滋賀グリーン購入ネットワーク収支予算（案）

の2議案が審議され、採択の結果承認されました。

以上をもって、2000年度滋賀グリーン購

入ネットワーク通常総会を終了しました。

〈休憩後〉

滋賀県立大学 環境科学部教授 仁連 孝昭氏が「循環型社会をめざして」と題して講演を行なわれ

続いて

トラヤ商事（株）専務取締役 安居 秀泰氏が「グリーン購入の普及活動と社内の取り組みについて」、（株）滋賀銀行 参事 富江 政和氏が「滋賀銀行の環境活動とグリーン購入」それぞれ事例発表が行なわれ、閉会となりました。



来賓祝辞（GPN代表幹事 緑川芳樹氏）

# 滋賀グリーン購入ネットワーク設立から 今日までの歩み

環境への負荷ができるだけ少ない商品やサービスを優先的に購入する  
グリーン購入を、県内に広く普及するために設立した  
滋賀グリーン購入ネットワークの設立から今日までの歩みをひろってみた。

## 入会状況

	1999.12.15	2000.1.末	2000.2.末	2000.3.末
企業	173	207	220	223
非営利団体	17	26	29	30
行政機関	52	52	52	52
計	242	285	301	305

	2000.4.末	2000.5.末	2000.6.末	2000.7.末
企業	228	231	233	237
非営利団体	31	31	31	31
行政機関	52	54	54	54
計	311	316	318	322

	2000.8.末	2000.9.末
企業	242	243
非営利団体	32	32
行政機関	54	55
計	328	330

### 1. 滋賀グリーン購入ネットワーク設立総会

- (1)日時：平成11年12月16日（木）午前10時
- (2)場所：ピアザ淡海 県民交流センター 3階大会議室
- (3)概要

## 活動実績

- 1) 設立発起人代表あいさつ
- 2) 来賓あいさつ
- 3) 報告事項  
設立に至る経過および滋賀グリーン購入ネットワークの概要について
- 4) 審議事項  
イ、会則の制定について  
ロ、アドバイザーの推薦について  
ハ、役員を選出について  
ニ、平成11年度事業計画（案）について  
ホ、平成11年度収支予算（案）について
- 5) 事例報告会  
(株)富士ゼロックス・滋賀県出納局・  
(社)八日市青年会議所 (株)ヒサダ昭栄堂



設立発起人代表 土屋正春教授あいさつ

### 2. 会議の開催

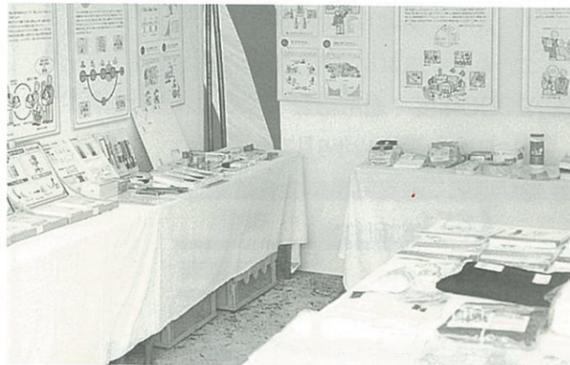
- (1)第1回役員会
  - 1) 日時：平成12年1月19日
  - 2) 場所：ピアザ淡海 県民交流センター 204会議室
- (2)第1回企画運営部会
  - 1) 日時：平成12年2月3日
  - 2) 場所：県庁新館 3A会議室
- (3)第2回企画運営部会
  - 1) 日時：平成12年3月3日
  - 2) 場所：滋賀会館 2B会議室
- (4)第3回企画運営部会
  - 1) 日時：平成12年4月14日
  - 2) 場所：県庁新館 3A会議室

- (5)第4回企画運営部会
  - 1) 日時：平成12年4月25日
  - 2) 場所：合同ビル 5B会議室
- (6)第1回幹事会
  - 1) 日時：平成12年5月19日
  - 2) 場所：滋賀県大津合同庁舎 7A会議室
- (7)第5回企画運営部会
  - 1) 日時：平成12年8月11日
  - 2) 場所：県庁本館 4A会議室
- (8)第2回幹事会
  - 1) 日時：平成12年9月13日
  - 2) 場所：滋賀県厚生会館 4C会議室
- (9)2000年度 通常総会
  - 1) 日時：平成12年6月7日
  - 2) 場所：滋賀県農業教育情報センター 第3研修室
  - 3) 内容：別掲

### 3. 地域イベントへの共催、協賛

- (1)滋賀グリーン購入セミナー  
(ひろげようグリーン購入) 共催
  - 1) 日時：平成12年3月16日
  - 2) 場所：ひこね市文化プラザ メッセホール
  - 3) 内容：提言による統括と意見交換
  - 4) 講師：東横学園女子短大生活学科専任講師 萩原なつ子氏
- (2)グリーン購入フェア参加 (1)
  - 1) 日時：平成12年3月17～18日
  - 2) 場所：北九州市
  - 3) 内容：滋賀GPNパネル展示  
パンフレット配布
- (3)グリーン購入フェア参加 (2)
  - 1) 日時：平成12年3月24～25日
  - 2) 場所：札幌市
  - 3) 内容：滋賀GPNパネル展示  
パンフレット配布
- (4)グリーン購入フェア参加 (3)
  - 1) 日時：平成12年3月29～30日
  - 2) 場所：大阪市

グリーン商品見本



3) 内容：滋賀GNPパネル展示  
パンフレット配布

(5)2000淡海エコライフフェア参加 (4)

- 1) 日時：平成12年7月8～9日
- 2) 場所：甲賀郡水口町
- 3) 内容：パネル展示  
グリーン商品展示による啓発

(6)ひこねエコフェスタ2000参加 (5)

- 1) 日時：平成12年8月5日
- 2) 場所：彦根市銀座街
- 3) 内容：パネル展示  
グリーン商品展示による啓発

(7)栗東町ゴミ減量リサイクル推進会議研修会

- 1) 日時：平成12年8月5日
- 2) 場所：滋賀県栗東町歴史民俗博物館
- 3) 内容：講演「グリーン購入とは」
- 4) 講師：関西日本電気株式会社  
環境安全センター長 都築康彦氏  
(滋賀GNP常任幹事)

(8)アイセック滋賀大学委員会シンポジウム

- 1) 日時：平成12年9月2日
- 2) 場所：滋賀県立大学
- 3) 内容：講演「環境ビジネスについて」
- 4) 講師：小林事務機株式会社  
取締役 寺澤清徳氏 (滋賀GNP幹事)

(9)湖北エコライフフェア参加 (6)

- 1) 日時：平成12年9月30日～10月1日
- 2) 場所：長浜市 クリスタルプラザ  
(湖北広域行政事務センター)
- 3) 内容：パネル展示  
グリーン商品展示による啓発

4. FAXリリースの発行

第1号	平成12年 2月 9日
第2号	23日
第3号	3月 9日
第4号	23日
第5号	4月 6日
第6号	24日
第7号	5月18日
第8号	30日
第9号	6月19日
第10号	29日
第11号	7月18日
第12号	8月 8日
第13号	9月 5日
臨時号	18日
第14号	10月 4日



会員対象アンケート調査結果報告概要

先日会員の皆様に、ご協力いただきました  
アンケート調査の結果の主なものを速報として掲載いたしました。

1. 課題は何か

- ①トップがグリーン購入に十分な理解がない
- ②社員により温度差があり、埋めるのが難しい
- ③組織の中での連絡がとりにくい
- ④環境配慮型商品の種類など具体的な情報がない
- ⑤相対的に割高感があり、採用が進まない
- ⑥判断基準の情報がない

2. 先行している団体の何が知りたいか

- ①同規模の事業所での社員の意識づける方法
- ②グリーン購入を進めるための社内組織  
総務部門と技術部門との伝達方法
- ③グリーン購入をめぐる、苦情、トラブルなどの事例
- ④コスト対応、従業員教育、情報収集の方法
- ⑤グリーン購入商品に関する社内基準

3. 普及促進のための提案

- ①地域部会のような組織で、地域情報の収集に努める
- ②エコ商品を分かりやすく提供できる組織づくり
- ③小売店舗の看板などへの会員マークの表示
- ④学校、非会員事業所への働きかけ
- ⑤会員を有資格者とするインターネット上の仮想店舗開設
- ⑥積極的な商品アピール

4. 滋賀ネットに希望する事業

- ①一般消費者レベルまで拡大する活動と仕組みづくり
- ②気軽に参加できる会員相互による交流事業
- ③活動事例を多く見聞できる機会を設ける
- ④事業者のネットワークよりも県民運動としての拡大
- ⑤商品展示会や情報交換会を頻繁に行う

5. 滋賀ネットに何を期待するか

- ①啓発資料の貸し出し、出前講座、講師紹介
- ②環境負荷を数値で算出した資料の作成
- ③情報の提供と一覧表の整理、製造業者への働きかけ
- ④他社の取り組み情報の提供
- ⑤共同実施できるような取り組みの情報

ご案内

会員団体である長浜市さん等の主催で「みどりの消費者(グリーンコンシューマ)講座」が以下の通り開催されます。みなさんどうぞ御参加下さい。

- (1)「生産から廃棄までを考えた商品の賢い選択」  
講師：東京大学生産技術研究所教授  
安井 至氏  
日時：平成12年11月18日(土) 13:30～  
場所：県立長浜文芸会館大ホール
- (2)「環境にやさしいエコ商品って何だろう」  
講師：(財)日本環境協会エコマーク事務局 事業担当理事  
田口 整司氏  
日時：平成12年12月16日(土) 13:30～  
場所：市民交流センター ふれあいホール
- (3)「グリーン購入を始めよう」  
講師：滋賀県立大学教授 滋賀GNP代表幹事  
土屋 正春氏  
日時：平成13年1月20日(土) 13:30～  
場所：市民交流センター ふれあいホール

いずれも参加料は無料  
申し込みは長浜市環境保全課  
(0749-65-6513) までお願いします。

## 滋賀GPN ニュース掲載用情報募集

滋賀GPN事務局では、皆様からの情報を募集しています。

### ■事例紹介

- 1) グリーン購入の組織内での取組み状況
- 2) 普及啓発活動
- 3) ひと工夫やエピソード
- 4) グリーン購入に熱心なお店やグループなどの紹介

### ■グリーン購入に関する新聞や雑誌記事

出典と理由も添えて。

### ■情報の送付方法

内容によって郵送、FAXをお願いします。(連絡先を明記ください。)

いただいた情報を元に小委員会で検討の後、採用の情報について編集をいたします。原稿の形式は問いません。

ニュースレター以外（FAXリリースなど）でも採用させていただく場合もあります。

### ●グリーン商品見本の貸出しについて●

会員の皆さまの、ご協力によりまして、グリーン商品見本を約120点確保することができました。

商品見本は、衣類、雑貨、文具、事務用品等です。

講演会、研修会等に使用して下さい。

貸出し期間は、貸出し日から返却日を含み、原則として2週間以内でお願いします。

使用料は、無料です。

商品見本の搬出、搬入については、使用団体でお願いします。

グリーン商品見本使用申込書は、事務局へ請求して下さい。

### ／編／集／後／記／

昨年「滋賀GPN News」の準備号を発行しました時に会員の皆様に定期的に有効な情報をお届けする手段としてホームページの開設と共に「ニュースレター」を定期的に発行するとしながら、創刊号の発行が今日になったことを深くお喜びいたします。

- ホームページも開設いたしました。FAXリリースを定期的に発行しておりますので、ご理解をいただき、益々のご指導とご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

<送り先>

### 滋賀グリーン購入ネットワーク事務局

〒520-0044 大津市京町三丁目4-22 滋賀会館1階 (社) 滋賀県環境保全協会内

TEL.077-510-3585 FAX.077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp ホームページアドレス:http://www.shigagpn.gr.jp/



古紙配合率100%・白色度70%の再生紙を使用